

第1期 兵庫県医療費適正化計画の実績評価

1 評価の位置づけ

高齢者の医療の確保に関する法律第12条に基づき、第1期兵庫県医療費適正化計画の実績評価を行い、その結果を公表するとともに第2期計画に反映させたものである。

2 評価の概要

- (1) 特定健康診査の実施率は、24年度目標70%以上に対し40.5%(23年度)、特定保健指導の実施率は24年度目標45%以上に対し13.9%(23年度)とともに低調であり、広報や受診勧奨等の保険者取組の他、指導対象者が積極的に受診する仕組みづくりが必要
- (2) 平均在院日数は24年度目標28.3日に対して、27.4日と目標を達成しており、引き続き医療機関の機能分化・連携を進め、平均在院日数の短縮を図っていく。
- (3) 兵庫県受動喫煙の防止等に関する条例の施行等、社会情勢の変化に伴い計画内容の見直し等の目標項目を追加すること。

3 項目ごとの実績と取組状況

[目標]	[実績]	[取 組]	[評 価]
(1) 県民の健康の保持の増進に関する目標 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特定健康診査実施率：70%以上</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特定保健指導実施率：45%以上</div>	40.5%	健康増進計画 ・個別受診勧奨 ・個人負担の無料化 ・セット健診の推進 ・受診機会の拡充	特定健康診査の実施率は全国32位、特定保健指導も実施率は全国36位と低調であり、受診を促す県民への広報と実施方法の工夫が必要である。 県：先進事例についての情報提供、保健師等に対する研修等 市町：受診率向上に係る創意工夫、広報活動の充実
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">メボリックシフト・ロム対策：10%以上減少</div>	13.9%		
(2) 「医療の効率的な提供に関する目標」 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">平均在院日数：28.3日</div>	27.4日	保健医療計画 ・スポーツの推奨 ・市町栄養士等による食生活の知識の普及啓発	メボリックシフト・ロムの減少率(対20年度比)は、2.9%減と目標を下回ったことから、対象者に対する積極的な勧奨を行う必要がある。 (平成23年度の全国順位は該当者18位、予備群23位) 県：市町保健師・栄養士等に対する研修会の充実や情報提供 市町：健康教室や糖尿病教室等、住民に対する啓蒙活動の充実
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">療養病床の転換：9,236床</div>		転換凍結のため、評価の対象としない。	

特定保健指導の実施に係る費用対効果

A 10億円

医療に要する費用の見直し

計画実施前医療費 B 81,156億円

計画実施後医療費 C 80,213億円

差引 D(C-B) 943億円

A+D 953億円

4 評価報告書の構成

第1期医療費適正化計画

- 基本的な考え方
 - 目標
 - 中間評価
- ### 実績評価

- 実績の概要
- 県民の健康の保持の増進に関する評価
- 医療の効率的な提供に関する評価
- 医療費の推計に関する評価

今後の取組と方向性

- 県民の健康の保持の増進について
- 医療の効率的な提供について

5 評価を踏まえた今後の取組の方向性

項 目	取 組 の 方 向
(1) 県民の健康の保持の推進に関する目標(健康づくり推進実施計画)	
ア 特定健康診査実施率	広報活動の強化推進、休日等受診機会の拡充、がん検診とのセット健診の推進
イ 特定保健指導実施率	保健指導の意義・効果の普及促進、休日等実施機会の拡充
ウ メボリックシフト・ロム	健康教室等保健事業の展開、生活習慣病の発症・重症化予防事業の展開、食生活改善事業の促進
新 エ たばこ対策	[新規項目] 喫煙による健康への影響等正しい知識の普及啓発、禁煙指導の実施、禁煙相談窓口の充実
(2) 医療の効率的な提供に関する目標	
ア 平均在院日数	医療機関の機能分化・連携を推進(保健医療計画)
イ 療養病床の転換	地域ケア体制整備構想による療養病床の転換は凍結
新 ウ 後発医薬品使用推進	[新規項目] 後発医薬品利用差額通知の実施による利用促進(医療費適正化計画独自取組)

[参考]

第2期医療費適正化計画の概要(目標比較)

区 分	第1期	第2期
特定健診実施率	70%以上	70%以上
特定保健指導実施率	45%以上	45%以上
メボリックシフト・予備群減少率	10%減	25%減
平均在院日数	28.3日	25.0日
療養病床転換	9,236床	-
後発医薬品使用促進	-	100%実施